

平成29年3月定例会 第100号

栄町議会だより

発行 栄町議会だより編集委員会

平成29年度当初予算、教育長の再任などを可決

平成29年第1回定例会（3月議会）が、3月7日から17日までの11日間の会期で開催されました。本定例会には、教育長の選任、新規条例の制定、条例の一部改正、6会計の補正予算及び、6会計の当初予算などを合わせて、24件の議案等が提出され、全議案とも原案のとおり可決されました。なお、今定例会における一般質問は10名、傍聴者は延べ24名でした。

議案審議

議案第1号 栄町教育委員会教育長の任命について 全員賛成
任期満了に伴う教育長の任命について、議会の同意を求めるものです。
議案第2号 栄町個人情報保護条例の一部を改正する条例 全員賛成
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正を踏まえ、情報提供等記録の訂正をした場合の通知

先に条例事務関係情報照会者等を追加するなど、所要の改正を行うものです。
議案第3号 栄町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 全員賛成
地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正を踏まえ、看護を行う職員等の時間外勤務の免除又は制限を設けるとともに、暦年で付与している年次休暇を年度付与とするため、所要の改正を行うものです。
議案第4号 栄町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 全員賛成

地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正を踏まえ、特別養子縁組成立前の子等のいる職員を育児休業等の対象とするため、所要の改正を行うものです。
議案第5号 特別職の職員で非常勤のものの特報及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 全員賛成
千葉県の最低賃金が改定されたことを踏まえ、町税等収納補助員の報酬について、所要の改正を行うものです。
議案第6号 栄町税条例等の一部を改正する条例 全員賛成
地方税法等の改正を踏まえ、法人住民税の法人税割の税率の引下げ、軽自動車税の環境性能割の導入など、所要の改正を行うものです。
議案第7号 栄町介護保険特別会計財政調整基金条例の一部を改正する条例 全員賛成
介護保険法に基づく地域支援事業に介護保険特別会計財政調整基金を充てるため、所要の改正を行うものです。
議案第8号 栄町ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例 全員賛成
児童福祉法の一部改正により、条例中で引用する同法の規定の条項について、

所要の改正を行うものです。
議案第9号 栄町地域支援事業に関する利用料条例 全員賛成
介護保険法第115条の45第5項の規定に基づき、地域支援事業に係る利用料について、必要な事項を定めるものです。
議案第10号 栄町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び栄町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例 全員賛成
介護保険法の改正による基準省令の改正を踏まえ、新たに地域密着型サービスとなる利用定員19人未満の通所介護に関する基準を設けるものです。
議案第11号 矢口工業団地拡張事業造成工事請負仮契約について 全員賛成
矢口工業団地の拡張に伴う造成工事の請負仮契約を締結したため、議会の議決を求めるものです。
契約金額 2億7,000万円
契約先 村檉建設工業株式会社

議案第12号 平成28年度栄町一般会計補正予算（第6号） 全員賛成
歳入歳出それぞれ1億5,373万1千円を増額し、総額79億2,699万円とするものです。
増額の主なものは、歳入では、国庫補助金、寄附金、町債などによるものです。歳出では、地方創生拠点整備交付金事業、財政調整基金積立金などによるものです。
議案第13号 平成28年度栄町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 全員賛成
歳入歳出それぞれ7,169万9千円を減額し、総額32億7,016万円とするものです。
減額の主なものは、歳入では、国庫負担金、高額医療費共同事業交付金などによるものです。歳出では、後期高齢者支援金、保険財政共同安定化事業拠出金などに係るものです。
議案第14号 平成28年度栄町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 全員賛成
歳入歳出それぞれ253万7千円を増額し、総額2億542万円とするものです。
増額の主なものは、歳入では、後期高齢者医療保険料によるものです。歳出で

は、後期高齢者医療広域連合納付金によるものです。議案第15号 全員賛成
平成28年度栄町介護保険特別会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ総額14億6千49万8千円と減額の主なものは、歳入では、国庫補助金、県補助金などによるものです。歳出では、地域支援事業費によるものです。議案第16号 全員賛成
平成28年度栄町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ総額19億6千8千円を減額し、総額5億5,657万2千円とするものです。減額の主なものは、歳入では、下水道事業債などによるものです。歳出では、汚泥処理処分委託などによるものです。議案第17号 全員賛成
平成28年度栄町矢口工業団地拡張事業特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ総額8億1,482万4千円とするものです。減額の主なものは、歳入では、土地売却収入によるものです。歳出では、公園造成工事設計委託、神明公園造成工事などによるものです。

議案第18号 第23号 平成29年度各会計予算審査 平成29年度各会計予算の審査を行うため、議長を除く全議員13名による予算審査特別委員会(委員長、橋本浩)を設置のうえ、2日間(10月27日、28日)にわたって各常任委員会、所管事項別に、質疑を行い、採決した結果、6会計予算とも特別委員会において可決すべきとされ、本会議において可決されました。議案第18号 賛成多数
平成29年度栄町一般会計予算 予算規模、総額66億6,760万2千円で、前年度比2.5%の減。議案第19号 全員賛成
平成29年度栄町国民健康保険特別会計予算 予算規模、総額31億3,926万3千円で、前年度比1.0%の減。議案第20号 全員賛成
平成29年度栄町後期高齢者医療特別会計予算 予算規模、総額2億1,503万1千円で、前年度比7.6%の増。議案第21号 全員賛成
平成29年度栄町介護保険特別会計予算 予算規模、総額13億6,915万5千円で、前年度比3.6%の増。

議案第22号 全員賛成
平成29年度栄町公共下水道事業特別会計予算 予算規模、総額6億5,488万9千円で前年度比0.4%の減。議案第23号 全員賛成
平成29年度栄町矢口工業団地拡張事業特別会計予算 予算規模、総額6億3,715万2千円で前年度比4.1%の減。報告第1号
専決処分の報告について 平成28年10月30日に、消防団車両が方向転換で後退した際、駐車中の相手方車両に接触したことにより発生した車両の損傷事故の和解等に係る専決処分について、議案に報告するものである。町政のここが知りたい 一般質問
安食駅前開発、橋上駅舎化、町民が働く場の確保など、町の活性化の推進について

問 栄町では、少子高齢化、人口減少などの諸課題が残り、今後さらに定住移住施策を進めていく必要がある。平成29年度に向けて、町の活性化のため駅前開発についてどのような考えか。答 町の活性化を図るための施策は、安食駅南側の宅地開発と道路整備を栄町都市マスタープランに位置付けている前新田地区の市街化調整区域に新たな宅地開発を誘導することを考えている。また、駅利用者の利便性向上として、現在の鉄道路線が、JR成田線や印旛線、成田湯川駅や印旛駅までバス路線を増やすことが活性化にもつながっていくので、この準備も行う。安食駅の橋上化については、小林駅まで橋上化になっているので、是非いつかは実現したいが、町の情勢、財政状況から、すぐには実現することは無理と考えるが、基本的な調査だけを行うっていく。

町内の供用開始後30年の公共施設の老朽化対策について 野田 泰博
問 上下水道施設、し尿処理施設、道路や橋梁などの社会基盤の老朽化対策を今後どのようにするか。答 上下水道施設は昭和50年代に建設され、これまで中心的な施設の制御システムが一部ポンプは更新され、他の機器は経年劣化が進み、管の老朽化により漏水箇所が年々増加していることから、老朽化対策として更新計画を平成30年度に策定する。下水道施設も老朽化が進んでおり、長寿命化計画に基づき機械整備の更新を行っている。尿処理については、機器の老朽化による機能低下がみられることから、平成36年度に施設を更新することとして、基本構想を策定したが、人口動態の変化や、デイスポージャー汚泥の処理の要望があることなどから、次期施設整備基本計画の策定を行っている。道路・橋梁については、平成25年度より国の経済活性化対策の一環として、舗装修繕等に対する補助制度が充実されたことからより多くの路線が整備できた。

子育て支援について 新井 茂美
問 栄町における子育てに関する現状と課題について。答 近年働く女性の増加により、保育園児数が年々右肩上がりに増加している。このことから、平成28年度に保育所の定員増加対策として、9月に小規模保育事業所が開所、今年4月に向

け、安食保育園の〇歳児から1歳児の定員の増員をす
る。また、ながと幼稚園の
認定こども園化を図り、1
歳児から2歳児の保育定員
を20名増員する。

なお、町では、人口減少
に歯止めをかけるための定
住・移住施策の柱として、
特に子育て支援に力を入
れ、病児・病後児保育事業
の実施や、妊婦への支援事
業、子育て相談事業、育児
応援塾、ベテラン母さん赤
ちゃん見守り事業などを実
施し、好評を得ている。

子育てに関する課題は、
園児が年々増加しているこ
とから、その受け皿づくり
を早めに対応すること。妊
娠期から子育て期にわたる
までの様々なニーズに対
し、総合的相談支援をする
子育て世代包括支援センタ
ーを整備すること。更に、
町内に小児科の病院がない
ことなどであると考えてい
る。

消防の広域化について

問 柴町 消防広域化について、大野 徹夫
 一部事務組合方式と事務委
 託方式のどちらの方式を選
 択し、その経緯はどうだっ
 たのか。また、広域化後の
 財政負担はどのようになる
 のか。

は、順調に印西地区消防組合及び栄町消防広域化協議会において議論されてきたが、3月13日の第5回協議会において、印西市長などから、委員辞職と広域化する意思はないという発言があり、頓挫しそうな状況になっていいる。当協議会では、両方式のメリット、デメリットについて幹事会及び専門部会において協議を進め、一部の財務組合方式では、将来の財政負担が不透明であること。事務委託方式では、印西市・白井市に新たな財政負担が生じないことなどから、財政負担のリスクがない事務委託方式を選択した。

広域化後の財政負担については、印西地区消防組合に、町が委託費として負担することとなるが、人件費については、印西地区消防組合の給料表が採用され、高くなることが見込まれている。

教育環境の充実について

問 小中学校トイレ洋式化
等 工事の進捗状況の確認
と、学校給食センターの老
朽化で調理器具の不具合は
無いか。また、学校統廃合
により給食センターの今後
の課題はあるか、給食を通
して食育や食品ロスに関す
る取り組みを伺う。

答 トイレ洋式化の進捗状況については、今年度国の第2次補正予算において有利な採択内示を受け、2月に工事を発注した。工期は7月末で、67箇所の洋式化を実施する。今回の工事により、洋式化率は61.8%となり、全国平均43.3%、千葉県平均45.3%より上回ることとなる。

学校給食センターは、供用開始後30年が経過し老朽化しているが、衛生面での調理器具の不具合はない。また、今後の課題として、生徒数の減少による給食数の減少が予想され、施設整備も老朽化と減少した食数を考慮しながら更新していく。次に、食育及び食品ロスへの取組については、給食の食べ残しは現在12.8%で、昨年より3ポイント減少している。センターで残菜量を算出し、各学校との比較について現状を把握し、給食指導を行う。また、栄養教諭が食事の大切さや地元食材の良さについて授業を行っている。

こども達の学習活動の充
実について

問 小・中学生の学校外の
塾などの学習活動の状況と
保護者の月当たりの費用負
担額は。授業についていけ

ない子への手立ては。サタ
デーわくドラの毎週開催と
布鎌小や竜角寺台小でも実
施出来ないか。

答 本年度町内の小中学生が学習塾等に通っている割合は、小学生37.3%、中学生59.1%となつている。また、運動系や文化系の習い事に通っている割合は、小学生67.4%、中学生30.7%となつている。なお、費用の負担額については把握できないが、文部科学省の子どもの学習費調査全国版によると、公立小学校で子ども1人当たり月18,275円、公立中学校で月26,205円となつてゐる。

授業でわからなかった場合の手立てとしては、授業のまとめの部分で振り返りの活動を重視し、理解が十分でない児童生徒に対し個別に指導するとともに、家庭での復習を行うよう指導し、必要に応じて課題も出して翌日担任などが点検し、理解が十分でない場合は個別に指導している。

現在のサタデーわくドラの毎週開催や布鎌小、竜角寺台小での実施は、学習支援ボランティアの人数等から見ても簡単にできるものではないと考えている。まず、現状の参加者数を増やすこと、内容を充実させることを第一に進めたい。

問 イベントは実施するこ
とが目的でなく、目的を達
成するための手段である
が、地域づくり・地域おこ
しとして実施する町の主要
イベントであるリバーサイ
ドフェスティバル、西のサ
イ、いつさいがっさいツッ
エスティバル等の具体的成
果と今後の方針について。
答 今年度の各イベントの
来場者は、8月実施予定
のリバーサイドフェステ
イバルが9月に花火大会
のみの開催で2万人。10
月の産業まつりは雨の影
響により3千人。11月の房
総のむらふるさと祭りと同
時開催のコスプレ大会は
13,600人となってい
る。12月のいつさいがっ
さいフェスティバル及び鍋
まつりは18,000人。2
月のリバーサイドマラソン
は、2,293人の参加があ
った。今後更なる町発展
に向け、町財政状況が厳し
い中、イベントを成功させ
るには、特異性を出し魅力
ある内容で、情報発信の充
実・強化が必要と考えてお
り、民間の運営ノウハウを
どれだけ取り入れているか
が課題と捉えている。ま
た、成田空港会社や近隣ホ
テル、民間企業・大学との

大野 信正

町活性化イベントの総括について

藤村 勉 ○旧北辺田小学校施設活用事業における懸案事項の解決と次年度以降の本事業継続の適否の町の判断について

岡本 雅道 ○消防の広域化について

編集後記 今年の桜は冷たい雨に打たれてもなお元気に咲き続けていました。入園式や入学式には、子どもたちの元気な声が校庭に響いていました。この子どもたちのように、私達もいつまでも健康で咲き続けたいものです。

高萩初枝